

2 0 2 0 年 度

事 業 報 告 書

鎮 西 学 院 本 部

鎮 西 学 院 幼 稚 園

鎮 西 学 院 高 等 学 校

長 崎 ウ エ ス レ ヤ ン 大 学

学校法人 鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

学 院 本 部

鎮西学院 2020 年度事業報告

建学の精神・鎮西学院の目指す人間像

1881 年(明治 14)鎮西学院は、北アメリカメソジスト監督教会から派遣された宣教師 C.S. ロングによって、長崎市東山手に設立された。生徒 12 名と教師 4 名からスタートした学院は、今や幼稚園・高校・大学までを擁し、卒業生の総数が 1 万 5 千人を超える総合学園に発展した。139 年という長い期間には、原子爆弾による被爆を経験し、また災害にも遭遇した。しかし鎮西学院は常に望みと信仰を棄てず、神への信頼をおく者の強さを発揮して今日に至っている。

少子高齢化や国際化など、今、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、私学のあり方もその根本が問い直されている。しかしそのような状況にあっても、創立者 C.S. ロングの教えである Be Christian Gentlemen! (キリスト教精神をもった紳士たれ) という建学の精神は、創立 139 年を迎えた現在でも生きており、クリスチャン・マインドを持った教養人を育むことは、学院の創立意義でもある。将来とも変わることのない鎮西学院にとっての真理である。

川崎升元院長が提唱した「敬天愛人」のスクールモットーは、戦時下の学院を閉校の危機から救った。「敬天愛人」のスクールモットーは、鎮西学院に連なる多くの人々の基本的な生き方の姿勢であるといっても過言ではない。

事業の概要

(1) 2020 年度目標聖句

「だから、言うておく。命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切だ。」

ルカによる福音書 12 章 22～33 節

2020 年度は、鎮西学院全体の 5 ヶ年(2018 - 2022 年度)の中期計画の 3 年目にあたり、理事会のガバナンスとリーダーシップの強化のもと、引き続き、幼稚園、高等学校、大学の各部門の連携と一体感の醸成に努めるとともに、歴史あるミッションスクールとして培ってきた国際交流・地域連携ネットワークを最大限に発揮し、未来の地域社会で、その担い手となる園児・生徒・学生たちの育成を目的とした特色ある教育研究事業を展開してきた。

(2)事業の概要

【概況】

2020 年度は、幼稚園、高等学校、大学、すべての部門で、新型コロナウイルス感染症への対応に教職員を挙げて奔走する 1 年であった。

大学、高等学校とも、特色である国際交流プログラムはすべて中止となったほか、幼稚園も含めすべての学事日程が変更を余儀なくされた。

特に大学においては、オンライン授業と対面授業によるブレンディッドラーニングの全学的導入とそれに伴う、PC、インターネット通信環境等のハード面での整備、LMS 等のシステムの活用をはじめとする授業・教授法の見直し等のソフト面の強化に全学を挙げて取り組んだ。また、学生の物心両面での支援に地域の協力を得ながら取り組んできた。

こうした教育・修学支援の努力が、新年度の定員を大きく上回る入学者数として、成果にむすびつけることができた。

また、高等学校においても、コロナ禍にもかかわらず、駅伝部男子が全国高校駅伝競走大会出場を果たした。進路実績においても国公立大学進学、公務員合格、就職率、いずれも目標を達成し、また生徒募集においても大きな成果をあげることができた。

幼稚園においては、新型コロナウイルス感染症感染予防対策に十分配慮しつつ、創立 65 周年記念事業として、記念礼拝、親子交流プログラム等、挙行することができた。

【鎮西学院 経営改善計画】

2017 年 11 月の文部科学省・学校法人運営調査の結果、2018 年度から 2022 年度の 5 ヶ年の新たな経営改善計画を策定し（2018 年 6 月理事会決定）、目標達成に向けた進捗管理に取り組むこととなった。

この経営改善計画の最終年度における財務上の数値目標は、次の通りである。

目標 経営判断指標：現状 D2 計画 3 年目 B0 最終年度 A3

目標 教育活動資金収支額の黒字化とその維持

現状 189 百万円 計画 3 年目以降 黒字化

目標 受入学生数：

大学の入学者数：計画 3 年目は定員の 90%（126 人）以上

計画最終年度 95%（133 人）以上を確保

大学の在籍学生数：計画 3 年目は収容定員の 80%（464 人）以上、

計画最終年度は 95%以上（551 人）を確保

（系列校からの内部進学率 20%以上、高校新卒者 100 人以上、留学生 40 人以上）

日本語教育プログラム留学生 2018（H30）以降每学期 50 人

計画 3 年目にあたる 2020 年度の目標達成状況としては、上述したとおり、学生・生徒・園児募集において前年度を上回る結果となったため、前年度に引き続き教育活動資金収支差額が黒字化する結果となった。経営判断指標としては、昨年度に引き続き「B0」段階となった。

また、懸案であった大学のロング館耐震改修工事について、国・地元諫早市の助成・交付内定を受け、年度末に着工となった。

鎮西学院幼稚園

キリスト教保育を中心として子ども達を育む

「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10 章 14 節

この聖句のように、創立以来変わらない精神

～子どもは神様から預かった大切な存在～ 一人ひとりを大切にした教育を行った。

教育（保育）の基本方針

幼児における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。学校教育法第 22 条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

～教育にあたり重視すること～

幼児の「主体的な活動」を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。

幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であるので、「遊び」を通して次の 5 領域 **健康 人間関係 環境 言葉 表現** のねらいが、総合的に達成されるようにする。

幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

- ・特別支援児に関しては、個別の指導計画・支援計画の作成をはじめ、保護者・療育機関・諫早市の保健師さんとの連携を図り、共通理解をもって個人の発達を支えることができるよう努めた。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい資質・能力」を常に意識した教育活動の展開

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10 項目) ...H29 (2017) 年度告示新幼稚園教育要領

健康な心と身体 自立心 協同性

道徳性・規範意識(ルールを守ろうとする意識)の芽生え

社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり、生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚 ことばによる伝え合い 豊かな感性と表現

- ・2月に御館山小学校・みたち保育園・当園で“保幼小連携会議”が実現出来たことをきっかけとし、幼稚園での生活及び教育活動がどう「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10 項目)に繋がっているのかを教員で見直すことが出来た。

(1) 教学改革計画

2019 年 10 月より、保育料の無償化が始まった。

- ・年少々(満 3 歳)入園希望者が増えているので、出来る限り対応し、園児確保に努めた。
2021 年度は更に多く受け入れていく予定。

◆保育内容の充実

・キリスト教保育（敬天愛人）の充実

- ・毎日祈りをもってスタートさせ、「感謝」と「思いやり」の心を育むよう努めた。
- ・ピースチャペルでの親子礼拝では、学院総宗教主事・鉄口先生、大学宗教主事・神田先生に説教をしていただき、保護者にもキリスト教保育に触れていただく機会を持つことが出来た。
- ・キリスト教保育について専任教諭が当番制で勉強会の問題提起や講話などを行う園内研修が出来た。また、このことは、園内の自己評価でも「よい学びが出来た、引き続き行いたい。」との意見が出たため、今後も継続していく。
- ・最低、学期に1回は全教員が諫早教会での礼拝に出席した。

・年間計画 月案 週案

PLAN（計画）DO（実行）CHECK（評価）ACT（改善）

週案提出 ... 第2, 4火曜日 業務記録・運転日報の提出 ... 第1, 3火曜日

協議等の時間確保のため、毎日の終礼（連絡会）を有効に。

進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行う。

- ・計画的に行うことが出来た。
- ・パート職員も増えたため、伝達漏れをなくすため連絡簿を作成。毎日回覧し、共通理解を図った。

◆教職員研修の充実

- ・コロナ禍で例年より研修参加は減ったが、リモート研修を受けた教員もいた。
- ・今後もリモート研修などが増えていくことが予想されるので、積極的に参加できる体制づくりに努める。

◆学院全体を意識した活動の展開

- ・例年より回数は少なかったが、コロナの状況が落ち着いている時には、大学や高校の方にも散歩に行くことが出来た。
- ・高校グラウンドでの「運動会」、大学西山ホールでの「クリスマス礼拝・祝会」も縮小ではあったが実施できた。

◆園長による絵本の読み語り

◆創立65周年記念行事の実施

- ・創立65周年記念礼拝実施。（11/20ピースチャペルにて）
- ・「かっちゃん先生と親子触れ合いあそび」（11/21 高校体育館にて）実施。
- ・記念品配布。（マグネットとボールペン）
- ・ひかりの会より、「テント一式」「子ども向けベンチ」「室内遊具」「三輪車」の寄贈があった。

(2) 園児募集対策と園児数・学納金計画

◆65周年記念に合わせ、入園案内パンフレット&ポスターを新しく作成

- ・これまでとイメージが違うよいものが出来た。

◆在園児の保護者への丁寧な対応

◆学校評価から見出した課題を、次年度の改善目標とする

- ・「幼稚園評価」実施。前年度に引き続き、全体的に高評価だった。
- ・結果についての報告をプリントにて行った。
- ・意見欄での要望等については、役員会で議題とし、改善の必要があるものについてはすぐに実施した。
意見欄には
- ・園庭遊具、園舎の老朽化による心配。
- ・結果報告のあり方（全意見を全保護者に知らせて欲しい）などが挙がっていた。

◆園長だより発行

◆園だより・クラスだより・フォトレターを毎月発行する

◆預かり保育の充実

- ・4月全国的に緊急事態宣言があり、休園をした時期も（4月23日～5月8日）預かり保育は毎日実施した。利用児12名前後。健康観察も強化。
- ・7月の大雨・1月の雪で休園した日も、安全確保した上で預かり保育は可能な限り実施した。
- ・医療関係の仕事をされている保護者より大変感謝され、子育て支援の必要性を実感した。
- ・残念ながら例年のように「お出かけ日」としての園外保育は、コロナ感染症予防の観点から中止したが、全教員で関わって園庭でお楽しみ会を実施した。

◆行事の充実と保護者会との連携推進

行事の計画的実践

全ての行事の起案を早めに ～個人の力から組織の力へ～

毎月の定例役員会を大切に

- ・保護者の立場からの意見を聞くよう努め、連携を大切にした。

◆未就園児親子遊びのつどい（オープンキャンパスの一環）

- ・コロナウィルス感染症予防のため、予約制にし、人数制限を行うほか、入室前の検温消毒などを徹底し実行した。

- ・例年通りにはいかないもどかしさもあったが、出来る範囲内で工夫をして行った。

◆ホームページ・SNSによる情報提供、広報活動の充実

- ・ホームページ、リニューアル。温かい雰囲気の良いものとなった。
- ・引き続き、毎日更新しているブログが好評。4、5月の休園の際も、更新をしていた。
(クイズ、折り紙の折り方、園庭の植物紹介など)

◆高校生・大学生に対しての広報活動強化

◆満3歳児受け入れ強化

◆園納金値上げ

	新	旧
施設設備費	1,600 円	1,500 円
スクールバス維持費(利用者のみ)	2,500 円	2,000 円
給食費	1,100 円	1,000 円
冷房費	3,000 円	2,500 円

◆2021年度より預かり保育認定者の代金納入方法を変更することを周知

(3) 施設等整備計画

◆登り棒取り換え

◆コロナウィルス感染症予防対策(全額、国の補助金にて購入)

- ・全クラスとホールに空気清浄機設置。
- ・手洗い場にソープディスペンサー(手をかざすと自動で液体せっけんが出る)
- ・飛沫ガード設置(昼食時や対面で机に座る時に使用)
- ・預かり保育夏休み昼寝用 マット

◆園庭整備の推進

- ・春休みに、全教員で園庭遊具のペンキ塗り実施。
- ・砂場の砂購入。
- ・園舎横の畑で夏野菜栽培を実施。園児は、園長と共に草取りや水やりを行った。

◆園舎老朽化への対応

- ・築50年の建物である(1970年1月10日落成式)
- ・幼稚園検討会議を中心に改築に向け具体化していく。2021年度、設計費を予算計上している。

(4) 危機管理

- ・子どもの生命、健康を預かっているとの使命感を持ち、学期ごとに全職員で安全点検する。
- ・園児の避難訓練を、年間を通して実施。(各学期2回、年6回実施。不審者、火災、地震)
- ・とくに不審者対策では、正門前の運行部にも協力をお願いしている。
- ・夜間、休日の防犯管理は警備会社に委託し、警備体制をとっている。
- ・不審者対策の道具『ネットランチャー』を設置している。(ネットランチャーとは、鉄砲方式で一瞬にネットが3～4m飛び出し、身体に絡みつ়防犯対策機器。)
- ・さらに『さす股』及び『ガス噴射器』を設置している。
- ・各クラスに催涙スプレー設置。

加えて、新型コロナウイルス感染予防対策を行った。

市内の教育機関が休校中も、“幼稚園は対象外”という県からの通達を受け、感染予防に努めながら、平常通り開園していた。その後、全国的な緊急事態宣言の発令により休園。期間：(4月23日～5月8日)

- ・学院内でのコロナ対策委員会にて、情報交換と共通理解。
- ・卒園式、入園式は縮小し、短時間で行った。
(来賓、在園児の参加なし。対象児保護者人数制限、プログラムの短縮化、謝恩会中止
集合写真園児のみ後日実施など)
- ・保護者へ、毎日、園児の健康チェックシート提出を依頼。(検温、体調チェック)
- ・教職員の検温、出勤時の手指消毒。
- ・全園児、全教職員 マスク着用。
- ・全園児、全教職員 本人及び家族に風邪症状などある場合は欠席する。(出席停止扱い)
- ・園内：消毒液噴霧、清掃の徹底、手洗い・うがい・手指消毒の励行強化、部屋の換気。
- ・3密を避けた教育活動。
- ・訪問者に、検温・手指消毒をお願いした。(園舎入口に体温計、消毒液設置)

鎮西学院高等学校

2020 年度鎮西学院高等学校事業報告

学院の教育目標	「品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成」
校訓	「敬天愛人」

1. 育てたい生徒像

品性高潔で、自導自治の力を有し、目に見えないものを見ることができるような生徒

2. 目指す教師像

品性高潔で、生徒一人一人を愛し、教育活動を通して人生を教えることができる教師

3. 教育の基本方針

Students First!

自分の面子や建前よりも生徒の思い優先し、本音で接しあえる関係を作る

Believe Your Students!

生徒の可能性を信じ、「どうせ...」「やっても...」などのネガティブな思想や発言禁止

We're Touching the Future!

常に生徒・家庭・鎮西・日本の未来を担っている自覚と責任を持つ

○入学者数推移

年度	2016	2017	2018	2019	2020
入学生徒数(全校生徒数)	263 (830)	314 (823)	334 (898)	320 (945)	334 (967)

- ・4年連続定員超で、全校定員 900 名超を維持。
- ・奨学生の数が多いので、その数を削減していくことが課題である。
- ・しかし、奨学生増及び新学科(公務員・GE)の影響で、しっかりとした目標を持った生徒が増えている。
- ・面倒見の良い学校としての評価が高いが退学者や転校する生徒も増えていて課題は残る。

4. 教育の5本柱

本校の教育には5つの大きな柱があり、それぞれの観点からまとめてみた。

幅広くて確かな進路保障(常に学校選びの第一ポイント)

本校の進路には大きく分けて国公立大学・公務員・就職という3本の柱があり、今年度は以下のようにそれぞれが目標を達成した。

1)(目標)国公立大学合格数 30 名以上(旧帝大 1 名含む)

国公立大学等 39 名合格、うち九州大学 1 名(19 年度 30 名・旧帝大 2)で目標達成

2)(目標)公務員合格数 50 名以上(一般職 15 名含む)

公務員合格数 84 名合格、一般職 28 名(19 年度 62 名・一般職 23 名)で目標達成

3)(目標)就職率 100%達成(10 年連続)

目標達成

- ・これだけ多岐にわたって成績を出しているのは長崎県内でも本校だけである。
- ・公務員においては公務員コースが完成 2 年目を迎え、昨年の最高結果をさらに上回る成果を出した。
- ・国公立大学も過去 2 番目の合格者数を出した点は大きく評価できるが、公立の方が多いのが課題。
- ・私立大学には 187 名が合格。中でもキリスト教学校同盟を活かして、同志社・関西学院・明治学院・西南学院等の有名私立大学に一般進学コースから多数合格したのは大いに評価できる。また、後述のグローバルイングリッシュ(以下 GE)コースも数多くの難関大学のしかも最難関の国際系・英語系に進路を決めた。

盛んな部活動

部活動の強化は私立学校においては学校活性化や学校の知名度及びイメージのアップに必要であるが、20年度は前期の大きな試合はほとんど中止され十分な結果を出す場が失われた。しかし、その中でもおかれた環境で努力を継続し着実に結果を残した

1) 運動部

- ・ 高校総体 駅伝競技のみ実施された

男子 優勝(3年ぶり 15回目)して全国高校駅伝競走大会出場(2時間 5分 57秒で 21位と健闘)

女子 第3位(2年連続)

- ・ 冬の選手権関係

優勝 女子サッカー

ベスト4 バレー男子

ベスト8 バレー女子・サッカー男子・バスケット女子

- ・ 新人戦

優勝 女子サッカー・女子卓球・男子卓球・女子バスケット(初)

準優勝 男子駅伝・野球(1年生大会)

ベスト4 女子駅伝・女子柔道・男子バレー

*この結果で21年度の県強化指定校に卓球男女・サッカー女子・陸上男子・バスケット女子の5クラブ、育成校に体操男子指定され、合計数で県内単独トップとなった

2) 文化部

- ・ 吹奏楽部が県吹奏楽祭で九州総文祭出場権を勝ち取り、本大会は中止となったがリモートで出演。

これだけの種目に亘って結果を残している学校は県内でも数校しかなく、注目を集めている。これらの部活動の躍進は、従来の指導者・選手の努力はもちろんのこと、17年度からまず300名の募集定員確保のために、奨学生の勧誘数を増加させ、数多くの力のある生徒が入学したことによる波及効果と言える。このことは20年度～22年度も同様であり、今後数年は同様以上の活躍が見込める。

グローバル化の推進

1) GE コースの革新的取り組みの継続

GE コースも完成年度となり、他校にない取り組みを続けた結果様々な成果が出た。

- ・ 3年生は進路が決定し以下のような画期的な実績を残した

公立大学 横浜市立大、北九州市立大2、長崎県立大

私立大学 学習院大2、明治学院大2、西南学院大、桜美林大、立命館アジア太平洋大、関西外語大2、京都外語大、拓殖大、鎮西学院大4(一人は全額免除)

英検 準1級合格者が7名となりその資格により合格した者も多い

- ・ 2年生はテネシーへの短期留学実施できず残念であった。

英検 準1級合格者5名と3年生に負けない合格者を記録し、内外から注目を集めた

- ・ 1年生は上海パイリンガルスクールとの交流を持てなかった

英検 2級合格者7名/21名、実力は確実についている

- ・ 海外研修は軒並み中止となり昨年のように活動できなかった。

2) 留学生・外国籍生徒の安定的受け入れ(年間15名程度)

- ・ 今年度は38名でスタートしたが、コロナウイルスの影響により7名が11月から12月まで入国が延びてしまい、4名が入国をあきらめて入学取りやめとなった。また、2年生が1名退学して中国に帰

国した。0年生として3名が入国した。

- ・留学生寮として栄田町内に第2ロング寮(男子専用/24部屋最大48名受け入れ可能)・第3ロング寮(女子専用/5部屋最大16名受け入れ可能)を開設した。
- ・今年度より「未創社」と新たに契約し、留学生寮の運営や日本語指導にさらに力を入れ、着実に生活習慣の改善、日本語能力の向上が見られた。

3) 海外の高校・訪問団との交流促進

- ・今年度はコロナウイルスの影響で海外との交流は全てが中止となった。
- ・毎年継続してきたカナダの姉妹校アップルビーカレッジとの交換留学も実施できなかった。

4) 海外研修への参加

- ・コロナウイルスの影響により全て中止。

5) ウェスレヤン大学との連携強化

GEコース生によるグローバルカフェやイングリッシュブートキャンプなどを実施し、大学の教員や学生たちとの交流の時を持った。

6) 海外修学旅行

昨年3月に実施予定であったオーストラリア or 台湾の修学旅行は、コロナウイルスの影響により行先を国内に変更して実施予定であったが、最終的にはそれも実施できなかったため、8月に3年生のためのハウステンボス日帰り研修を実施した。2年生も3月に実施できなかったため、来る7月に佐賀・長崎を巡る2泊3日で実施予定。

ICT化の推進

- 1) 私学助成金を使い全教室に電子黒板機能付きのプロジェクターを設置
- 2) 1年生よりICT諸費(¥2,500/月)を徴収し、タブレットを貸与
- 3) 授業・課題等の配信・アンケート・諸連絡等に活用した

キリスト教教育

- 1) 日々の礼拝・修養会・特別礼拝などを通じ、信仰心と愛校心を涵養することができた。
- 2) 宗教的行事を通して培われる精神的な素養は「品性」をキーワードとしたきちんとした生徒指導と密接に結びついていて、生徒指導の対象となるような事例は学期ごとに1件あるかどうかである。
- 3) 様々な場面で生徒たちから「鎮西生としての自覚」とか、「立派な鎮西生になる」などの発言を聞くことが多くなり、生徒たちも愛校心や誇りをもって学校生活を送っていることが分かる。
- 4) キリスト教への理解も深まり、送辞・答辞を始め、種々の挨拶の中にも聖書を引用する者が多い。
- 5) キリスト教教育は学院の根幹であり、学科やコース・部活動や人種を超えて学校を一つに貫くものとなっている。

5. 教育力のアップと教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

教育力のアップ

- 1) 各教科年に一度以上の研究授業を実施して、教育力のアップに努めた。特にICT機器を使った授業は全教職員の関心が高かった。
- 2) 3月の臨時休校時期を使って、各委員会の会議やICT機器に関する研修会を実施した。ほぼすべての教職員が積極的に参加していた。

教職員の疲弊感解消・やる気の涵養

1) 働き方改革

- ・教職員の出退勤の正確な把握を行うために X'sion(クロッシオン)というアプリを利用した
- ・定期試験中午後を自由時間とするリフレッシュデーを設けた(事務職員は交代で)
- ・月曜日を原則ノー部活デーに設定・試験中土日の原則練習禁止
- ・常勤講師(若手)増で、副担・分掌・部活動・各種当番に入れて、一人一人の負担を軽減した
- ・会議等が勤務時間を超過した場合には、後日に早退免などを極力認めるように努めた
- ・20年度より完全週休2日制実施

2) 校長面談の実施

- ・教職員のストレス軽減のため、学校運営の参考意見を聞くためなどに11月に校長面談を実施した。
- ・要望や要請は全て聞き、実現可能なもの、重要度の高いものなどはすぐに取り入れるように心掛けた。

3) 活躍を認め合う、称えあう雰囲気醸成

- ・月曜朝会後に教員持ち回りで Weekly Speech を実施し、和やかな雰囲気ですべて1週間を始められた。
- ・月1回のノンクリスチャンの先生によるチャペルでの講話を実施した。生徒たちは通常の礼拝時よりもよく聞いている。
- ・峯脇先生の教職員のメンタルヘルスマンテナンス維持に対する功績を称え、教員表彰を実施した。

6. 問題点の解決に向けた取り組み等

予算の健全化(20年度実施予定分を含む)

- 1) 授業料・寮費のアップ(¥1,000/月)を決定し、5月のPTA総会で予告し実施
- 2) 修養会費用の自己負担増 コロナウイルスの影響で実施できず
- 3) ICT関係の実費(¥2,500/月)徴収
- 4) 授業料一部無償化による奨学金の減少(B奨学生を増やしA奨学生も総数も徐々に減少)
- 5) 時限変更により授業数を削減することで、非常勤講師関係出費を削減

商業科の特色付け

- 1) ICCとの連携を軸にPC関連に特化して強化
- 2) 各学年1クラス体制にして集中的な指導でレベルアップを図る

教室不足・寮の部屋不足(特に女子)

- 1) 宗教室を2G(13名)教室とすることで、何とか現高校校舎に全教室を入れられた
 - 2) 女子寮は留学生数名をカブリ 寮(大学寮)をお願いした
 - 3) 男女寮室が不足したため、卓球部男子4名を市内に下宿させ、男子寮1階を女子寮とした
- ### 留学生寮の確保と運営体制の構築
- 1) 20年度が寮生超過(20名程度)となる見込みとなった
 - 2) 中国人男子留学生のための栄田町平湯コーポレーション社員寮を借りることとした(第2ロング寮)
 - 3) 留学生女子寮として栄田町の旧ミカローム事務所を借り上げ改装し第3ロング寮とした。
 - 4) 第2ロング寮に舎監を置き、キッチンを設け、そこで全員が食事を取っている。
 - 5) 第3ロング寮には提携の未創社の事務所が入り、舎監を兼ねている。
 - 6) 日本人男子入学生の中から諫早市内の下宿(アベニュー城見)に4名入ってもらった

長崎ウエスレヤン大学

学校法人鎮西学院 長崎ウエスレヤン大学 2020年度事業報告

1. 教学改革の進捗状況と産学官連携の推進

1) 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

○ 学事日程の変更とブレンディドラーニングの全学的導入

2020年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、学事日程の大幅な変更、インターネットを介しての遠隔授業と対面授業によるブレンディドラーニングを全面的に導入することとなった。

国の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策、長崎県の休業宣言等を受け、本学では、オリエンテーションを4/16・17、授業開始日を4/20とし、授業の最初の2日間は三密回避に配慮した分散登校による全学年のゼミを開催し、前期の授業スケジュールと遠隔授業の受講に関する説明、学生の通信環境の把握等を行った。対面授業は5/11より開始し、それまでは遠隔授業による授業を行った。以降、三密回避をはじめとする文部科学省のガイドラインに準拠した教室施設の環境保持に努めながら、学生、授業担当教員の健康状態に十分配慮し、遠隔授業と対面授業によるカリキュラム運営を行っている。

本学では、長崎県による休業要請がなされた場合に備え、実習・実技系科目を除く全科目において通常の対面授業の代替措置として遠隔授業を準備・実施することとし、独自開発のLMSIによる教務・学生支援情報の連絡・情報発信に努めるとともに、対面・遠隔の別に関わらず、グーグル社のG-Suite for Education、特にGoogle Classroom及びGmailを活用した授業運営を行うことを3月末に基本方針として決定・実施している(ただし、学内通信環境の都合上、オンデマンド型授業を中心とする)。また、個々の授業科目での遠隔授業の実施状況(授業計画、成績評価方法、課題提出・添削をはじめとする受講生とのコミュニケーションの状況等)の把握を定期的に行うこととした。

本学では、これまで語学情報センター、図書館、大教室を含む全ての教室、学生ラウンジ、学生食堂、教員研究室等、キャンパス内の大半の施設内におけるフリーWifi環境を整備しており、学生専用PC及び貸出用タブレット端末計151台を整備しているが、学生の通信環境は必ずしも十分とは言えず、自宅での遠隔授業の受講は主にスマートフォンによるものが多い。したがって、通常の授業期間中は、空き教室等の施設を開放し、課題の作成・提出等の学修時間を確保するよう配慮している。

遠隔授業の実施にあたって、文部科学省の補助事業により、学生用の貸し出しノートPC、タブレット端末計95台を整備し専門人材を配置、G-Suite等の利用方法に関する学生相談はもちろん、教員の遠隔授業の運営上の課題の解決に努めるとともに、教員対象のG-Suiteを中心とした各種ツールの利活用のためのFDを、年間を通じて取り組んできた。

○ 学生への経済支援

新型コロナウイルス感染症は、いっぽうで学生の経済環境に大きな影響を及ぼした。本学では、学費の納入期限・除籍ルールを従来の各学期末から、年度末へ変更するとともに、国の助成制度を活用し、新たな修学支援制度が適用されない学生(留学生含む)の学費減免を実施した。

特に留学生に対しては、地元ロータリークラブをはじめ、様々な団体・企業から食料品等の支援物資が多く寄せられた。

なお、上記の学費減免については、諫早市からも助成を頂いた。

○ 留学生の派遣・受け入れ

4月入学の外国人留学生(編入学含む)、及び再入国許可を得て出国した外国人留学生で、出入国制限やロックダウン等により多くの学生の入国・再入国が困難となった。修学が困難となった学生については、本人の申し出があった場合、休学の扱いとすることとした。

入国・再入国が困難となっている学生の所属する学科のゼミ担当教員は、インターネット通信等を

利用し、当該学生の学習の継続可能性等、学生の個別事情に即した修学支援を行い、やむを得ない場合、休学を勧めるものとした。

10月に修了したPGMM生、日本語教育プログラム科目等履修生で進路未決定者を対象に、修学支援・在籍管理の一環として、臨時的に聴講生プログラムを開設した。

特に日本語教育プログラム科目等履修生は4月入学予定者及び10月入学予定者の200人以上が入国・入学の目途が立っていない。

また、派遣プログラムについても、JASSOの奨学金プログラムが採択されているにもかかわらず、全面的に中止となった。

2) 全学的キャリア支援体制の成果

コロナ禍の中で、今春の卒業生の就職状況はここ数年で最も就職率が高く、公務員合格者を多数輩出し、全学的キャリア支援プログラムの成果が見られた。

【就職・進路実績】

● 就職率

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
全体	91.7%	88.6%	87.2%	86.4%
社会福祉学科	100%	94.8%	86.4%	86.4%
経済政策学科	89.7%	89.5%	92.3%	95.0%
外国語学科	85.7%	82.3%	81.2%	76.5%

就職者(2019年度) 55人 ※就職希望者 60人／卒業生 73人中

(内訳) 一般企業 35人 福祉関係 15人 公務 5人／県内 30人 県外 17人

- 主な就職先：長崎市役所、五島市役所、松浦市役所、平戸商工会議所、佐賀県立学校教員、長崎空港ビルディング株式会社、長崎日産自動車株式会社、長崎トヨペット株式会社、福岡徳洲会病院、社会福祉法人長崎厚生福祉団
- 進学先(大学・大学院)：長崎大学大学院、大邱大学大学院(韓国)

【資格取得支援】

- 福祉関係国家資格新卒者合格率 ※カッコ内は全国平均

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
社会福祉士	26.7% (29.3%)	50.0% (29.3%)	64.3% (28.9%)	31.3% (30.2%)
精神保健福祉士	66.7% (64.2%)	100% (62.1%)	83.3% (62.7%)	100.0% (62.9%)
W受験	66.7%	80.0%	83.3%	83.3%

2020年度 社福:4/15 精神:2/3 ダブル:2/3

- 情報処理関連資格(CS検定) 受験者・合格者(人)

	ワープロ2級			表計算2級		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2017年度 集計	5	1	20.0%	5	3	60.0%
2018年度 集計	27	11	40.7%	9	5	55.6%
2019年度 集計	12	3	25.0%	3	1	33.3%
2020年度 集計	41	5	12.2%	2	1	50.0%

- 英語教育

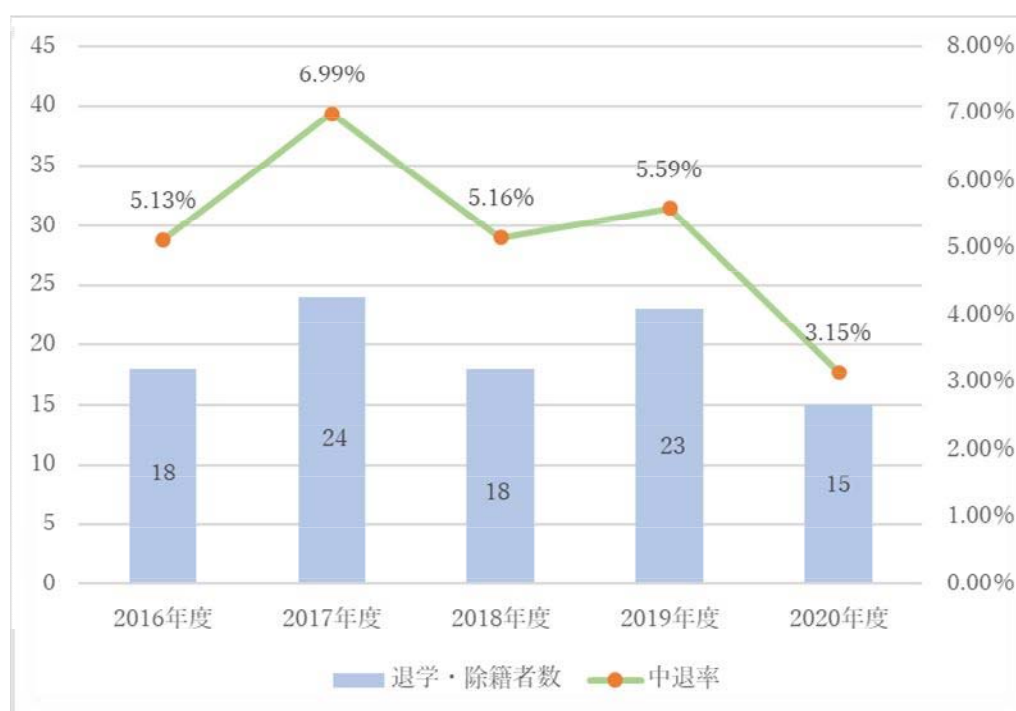
TOEIC

	受験者数(人)	最高スコア(点)
2017年度	26	875
2018年度	35	805
2019年度	42	725
2020年度	69	750

3) 中退予防

中退率 5%以下を目標として、学科を中心にキャンパスソーシャルワーカー、学生支援課、学生委員会との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと、中退予防に取り組んできた結果、2020年度の退学・除籍による中退率は 5%以下となった。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



4) 地域連携・産学官連携への取り組み

本年度は、コロナ禍に直撃された観光業に関連する事業を多く受託した。

【2020年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
伊王島観光受入態勢ステップアップ事業	KPG HOTEL & RESORT	309,100 円
長崎県観光地魅力アップ事業共同研究業務	長崎県旅行業協会	1,980,000 円

令和2年度 ナイトタイムエコノミー推進にかかるコンテンツ 造成事業 長崎・伊王島における自然・海、食、癒しをテーマとしたナイトタイムコンテンツ造成事業	九州運輸局	7,520,126 円
伊王島灯台キャンプ業務委託費	テレビ長崎	165,000 円
長崎バス 安心・安全対策ガイドマニュアル監修	長崎バス	110,000 円
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	—

5) 大村サテライトキャンパス

インド協定大学との連携によるPost Master in Management プログラム1期生12人は、コロナ禍の中、地元企業等の実践的プログラムへの協力もあり、無事修了した。うち、6人は国内企業に就職を果たした。

6) 九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム

昨年度に引き続き、長崎県・佐賀県の国公立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、私立大学改革総合支援事業「タイプ3 地域社会への貢献(プラットフォーム型)」に採択された。本学は、プラットフォーム事業において「地域・産学連携系ワーキング・グループ」責任校として、当該事業に積極的に参画している。しかし、2020年度に予定されていた幾つかの事業が、新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止となった。

2. 学生募集・広報活動の状況

1) 学生募集活動

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
在籍学生数	351 (58.5%)	343 (59.1%)	349 (60.2%)	411 (70.9%)	475 (81.9%)	548 (94.5%)
1年次入学者数	88 (62.9%)	97 (69.3%)	120 (85.7%)	144 (102.9%)	136 (97.1%)	166 (118.5%)
内訳						
社会福祉学科	21 (42.0%)	20 (40.0%)	23 (46.0%)	38 (76.0%)	26 (52.0%)	50 (100%)
経済政策学科	26 (52.0%)	41 (82.0%)	42 (84.0%)	48 (96.0%)	62 (124.0%)	62 (124%)
外国語学科	41 (102.5%)	36 (90.0%)	55 (137.5%)	58 (145.0%)	48 (120.0%)	54 (132.5%)

※外国語学科は交換留学生を含む

2) 留学生募集

【留学生入学者推移】

	2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度	2021 年度
	4 月	10 月	4 月	10 月	4 月	10 月	4 月	4 月
1 年次	25	11	46	17	48	15	37	35
うち私費	11	7	33	7	38	11	32	31
うち交換留学生	14	4	13	10	10	4	5	4
3 年次	14	0	4	0	3	7	3	2
うち三年次編入	5	0	4	0	3	0	3	2
うち短期	9	0	0	0	0	7	0	0
学部生合計	39	11	50	17	51	22	40	37
日本語教育プログラム	26	27	51	57	16	72	114	1
PGMM プログラム	-	-	-	-	-	12	-	0
留学生合計	64	38	101	74	67	106	154	38

※日本語教育プログラムは、3月以降、ネパールのロックダウンのため、学費入金済の学生数を計上。

3. その他の主な教育研究活動

＜2020 年度累積 GPA 学年別平均＞

	年度	1 年	2 年	3 年	4 年
平均	2020 年	2.52	2.59	2.49	2.72
	2019 年	2.4	2.44	2.57	2.5
	2018 年	2.33	2.46	2.41	2.69
最高	2020 年	3.92	3.89	4	3.95
	2019 年	3.9	3.95	3.8	3.8
	2018 年	4	3.82	3.79	3.98
最低	2020 年	0.35	0.67	0.61	1.1
	2019 年	0.02	0.35	0.74	1.24
	2018 年	0.26	0.3	0.59	1.04

＜学長賞・成績優秀賞＞

学長賞・・・卒業時に、4 年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、
若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。

成績優秀賞・・・学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2017 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	10+1(学)	4	2	0
後期	3	1	6+1(学)	9+1(学)
2018 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前期	7	5	3	0
後期	8	7	5	7+1(学)

2019年度	1年	2年	3年	4年
前期	15	8	5+1(学)	0
後期	6	8+1(学)	10	3+1(学)
2020年度	1年	2年	3年	4年
前期	15	14	8	0
後期	12	15	6	7

<障害学生の在学状況>

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	その他	計
2017年度	0人	0人	8人	8人
2018年度	0人	0人	10人	10人
2019年度	0人	1人	11人	12人
2020年度	0人	1人	10人	11人

<科目等履修生の受入状況>

	前期	後期
2017年度	3人	6人
2018年度	5人	5人
2019年度	6人	4人
2020年度	3人	5人

(福祉総合演習、日本語教育論、社会言語学、日本語教授法、国際協力論、アジア文化論、教育の制度と社会、教育心理学 等)※日本語教育プログラム受講生を除く。

<高大連携関連事業報告>

鎮西学院高等学校との高大連携について、「高大連携講座」に年間を通して取り組むとともに、昨年度に引き続き「テイスティング・ウエスレヤン」(3年生対象)を実施し、ゼミの雰囲気を感じてもらい、大学教員や学生との交流を図ることで、本学への理解を深めてもらうことができた。

大村高校が採択されたスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の文理融合プログラムの開発と実施についても、昨年度より継続して基盤教育センターがおこなった。また11月には、大村高校と連携協定も締結した。

また、九州福祉系高校教員研究セミナー、高校生福祉大賞コンテストは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場に集結せず、オンデマンドでその模様を配信した。

<部活動の主な成績>

クラブ名	大会名	結果
卓球部	全日本選抜強化大会(横浜)	シングルス: 針尾恭輔 出場
	オール西日本大学卓球選手権大会(滋賀)	シングルス: 針尾恭輔、杉内礼恩、小林幸司 出場
	全九州卓球選手権地区予選大会(長崎、佐賀、沖縄)	シングルス: 針尾恭輔、椿雄大郎、杉内礼恩、小林幸司、高江洲恭也 通過
男子バレー部	長崎県大学男子バレーボール大会	1勝1敗

サッカー部	長崎県大学サッカー秋季リーグ	2位 2勝1敗
水泳部	諫早市水泳競技大会	50M 平泳ぎ1位 (小栗吉生) 100M 平泳ぎ1位 (") 200M 平泳ぎ1位 (") 優秀選手賞受賞 (")
WJE ウエスレヤン ジャズアンサンブル	出演実績 ・新入生歓迎会(6/3) ・ピースアワー(7/22) ・オープンキャンパス(7/23・3/20) ・アイランド長崎・ナイトタイムコンサート(8/23) ・NCC出演(10/29) ・長崎マーケット×アイランド長崎 ハロウィンイベント (10/31) ・おおむら秋祭り・ご当地自慢グルメフェア(11/7) ・ウエスレヤン大学点灯式(11/27) ・アイランド長崎演奏(12/20) ・長崎県アンサンブルコンテスト(12/27) ・ステーションフェスティバル(3/13) ・成人学級高齢者楽習(3/24)	金賞
コーラス隊	・クリスマスツリー点灯式(11/27)	
ぶっく倶楽部	・モザイクビブリオバトル(6/15) ・コミックビブリオバトル(10/15) ・チームビブリオバトル(11/11) ・全国大学ビブリオバトルオンライン大会予選 (11/28、12/5、12/12) ・テーマビブリオバトル(12/16) 全国大学ビブリオバトルオンライン大会準決勝 (12/19) ・ビブリオバトル全国大会 in いこまオンライン予選会 (1/31) ・英語学習放課後子ども教室(ココロねっこ)(2/20) ・卒業ビブリオバトル(2/12)	濱田拓弥、寶子山海、井戸響生 井戸響生 寶子山海

<学術研究>

個人研究費の配分状況

2020年度の個人研究費については、財務逼迫の折、昨年同様150千円の配分となった。

科学研究費助成事業の獲得状況

「2020年度科学研究費助成事業」の継続課題は、科学研究費助成金2件と学術研究助成基金助成金2件。また「2021年度科学研究費助成事業」への申請件数は3件、採択は0件であった。

4. ロング館耐震改修工事について

懸案であった大学ロング館耐震改修工事を年度末より開始することとなった。

事業経費の1/2は国、更にその半額を地元諫早市より補助を頂く(交付内定済み)。

以上